

日本一の水源の郷をめざす道志村



郷土史を語る会 しめ縄づくり教室

- 議長新年あいさつ 2
- 一般質問（これが聞きたい） 4～10
- あの一般質問は・今（景観づくりとその継続は） 14
- 紹介／がんばる人紹介 15～16

新年のごあいさつ

道志村議会議長 水越 茂 広



インフラ整備が最重要課題です。と期待しております。

こうした課題は財政の厳しい地方自治体で解決できるものではなく、国会議員や県議会議員として活躍されている方々に期待していかねばなりません。また、平成25年度より「農村災害対策事業」が実施されることになりました。この事業は今まで実施されていた中山間地域総合整備事業に代わり、新たに導入される事業で、5年間の計画で村道や水路、緊急時の避難道路等を整備していく予定です。安全安心の村づくりに寄与されるものと期待しております。

住民の高齢化が進む中で福祉の向上、国民健康保険の健全化などにも取り組み、子供からお年寄りまで安心して暮らせる村づくりのために、議員一同今年も一致団結して頑張っていく所存でございます。

新年明けましておめでとうございます。皆様ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に対し御支援、御協力を頂いておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年末に行われました衆議院議員選

道志村は、急激な人口減少に歯止めがかからず、若年層の定住化対策として、就業場所の確保、道路改良等の



謹んで新年のお慶びを
申しあげます

議会議員（議席順）

議長	水越茂
副議長	山口力
議員	出羽和
議員	山口博
議員	池谷高明
議員	大田博文
議員	長田達義
議員	山口勝也
議員	杉本秀明
議員	佐藤定三



謹賀新年

委員長のごあいさつ



議会運営委員長 長田 達義

明けましておめでとうございます。これまでに山梨県町村議会運営委員長会議や新潟県湯沢町へ行政視察に参加させていただきました。

先進地では、一問一答方式や常任委員会の任期が4年とか、又、先日の議員研修会では、常任委員会の長は長くやった方が良いという講演を聞きました。又、議会改革は今できることを少しずつやっていきたいと思っています。

村民の皆様のご意見を聞きながら公平、公正な議会運営を行いたいと思います。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

総務文教常任委員長 出羽 和平

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、体育協会及び教育委員会と体育祭について、意見交換を行いました。

さて、今、本村においても少子高齢化が進み、人口減少問題が大きな課題となっております。若い人達がここに住み、子育てをする、いわゆる定住人口増加対策についてどうするか。

本年度はこの問題に積極的に取り組みたいと思っています。

広報常任委員長 杉本 秀明

新年明けましておめでとうございます。

昨年はオリンピックで、日本が過去最多でメダルの獲得をしました。山中教授のiPS細胞でのノーベル賞受賞などの朗報も数々ありました。それと衆議院総選挙での自民党の政権奪取がありました。いずれにしても、日本

の舵取りをどのようにしていくのか是非とも多種多様な問題に、早く最良な手段で取り組んで頂きたい思うところです。



建設厚生常任委員長 山口 博康

新年明けましておめでとうございます。私たちが議員としての研修も受け、関係機関とも交流を行い、活動ができたと自負しております。

月夜野・大渡・野原間のトンネルは、測量に着手し、着工が目で見えてわかるようになりました。新年度も、順調に進む見通しです。

又、農村災害対策事業も、新年度採択の見込みで、今後、相当額の公共工事が見込めます。これは村活性化の一翼を担う大きな手段だと考えます。村民の生活の安全性と、安心して暮らせる地域づくりに、又、雇用確保のための事業獲得のため、頑張りたいと思いますので、尚一層のご協力をお願いいたします。

一般質問
(これが聞きたい)

どうする 国民文化祭は



出羽和平 議員

問 富士の国やまなし国文祭で
道志村はなにをするのか

答 三部門の柱を中心に進める

問 国文祭では
なにをするのか

第28回国民文化祭が平成25年1月から始まります。県内外からの参加者・観覧者に、山梨の文化資源や豊かな自然環境に直接触れ、体験していただくために、初の通年開催として、平成25年1月12日(土)から11月10日(日)まで303日間開催されると、国文祭山梨県実行委員会のホームページに掲載しています。そこで、道志村を検索すると、地域の人々とともに、文化・歴史の史跡めぐりや郷土料理作りなどの様々な体験を通して、ふるさとの自然や



やまゆりセンター 川原畑神楽保存会

暮らしを見つめます。開催期間は、平成25年11月2日(土)から11月10日(日)となっています。ですが、具体的に何をやるのかが載っていません。山梨日日新聞に道志村は、「ふるさと生活文化フェスティバル」となっていました。が、

答 教育課長

具体的には何をやるのかお聞かせ願いたい。

富士の国やまなし国文祭につきまして、お答え致します。国民文化祭は全国各地から集まり、発表・競演・交流する「日本最大級の文化の祭典」です。毎年各都道府県持ち回りで開催され、平成25年山梨県で開催される国文祭は全国初の通年開催で行われます。

道志村におきましては、「ふるさと生活文化フェスティバル」と題しまして、平成



D-1 グランプリ 道志グルメでにぎわう広場

25年11月2日(土)から11月10日(日)までの「やまゆりセンターまつり」を開催する中で芸能発表の部をメインに各種の展示を行い、伝統芸能の体験や文化に触れていただく伝統文化部門、及び集客力のある道の駅で開催される、「R413フェスティバル」における地元

の食文化を体験するところ。D1グランプリをメインに開催する食文化部門、みなもと体験館での「もの作り体験」の生活文化部門と3部門を柱に現在調整をしているところ。 「再質問あり」

元

一般質問
(これが聞きたい)

役場庁舎の耐震性は



池谷高明 議員

問 役場庁舎の建て替えについて

答 三つの視点でその適否を検討する

問 役場庁舎の建て替えについて

庁舎は昭和41年に建築され現在46年経過しており、建物の老朽化や耐震性について懸念されるが、建て替える必要性はあると考えているのか。また、現在の庁舎は道路を挟んで駐車場と庁舎が分かれており、交通量が多い今日、横断時の危険性を回避するには安全な場所に移転することが望ましいのではないかと、思うが、移転する用意はあるのかお尋ねします。

答 総務課長

ご質問の「立て替える必要性はあるのか」と言う事ですが、3つの視点でその適否を検討する必要がありますと考えています。優先されますのは、安全性の適否であります。いつ来てもおかしくないとされている大震災の懸念に備えるためには、防災拠点として十分な安全性が担保されなければなりません。本年度、耐震診断を実施しているところであり、役場の駐車場については、多くが民間からの借地になりますが、面積的に余裕がなく、加えて国道を横断の際

は危険が伴う、というリスクも抱えている状況にあります。

庁舎の位置に關しましては、現時点においては、まだその段階ではないと考えています。今後、学校施設の取扱いも結果如何では、検討課題と発展することも考えられます。このことを踏まえ、まずは、準備としての財源確保のための基金の設置を、本年度中に考えていきたいと思っております。

「再質問あり」



昭和41年に建てられた役場庁舎

一般質問
(これが聞きたい)

多発する交通事故の対処は



佐藤定三 議員

問 村内交通事故防止対策について

答 集中的な取り組みと注意喚起する

問 交通事故防止対策について

近年、道志村内いたる箇所にて交通事故が多発しています。要因としては、国道413号は車の通行量が多く、昼夜問わずスピードオーバーで走行する車両が数多い為、カーブ及びカーブ付近にて事故を起こすケースが増加しています。

川原畑地区においては郵便局から大指地区にかけてのカーブ、特に月夜野から山中湖に向かう方向からの車両の脱輪、センターラインオーバーによる対抗車両との衝突・接触事故が多発しています。



現状はカーブ標識・表示灯の安全対策がなされていません。県外車両が多く、道路状況がよく分からないドライバーが多い為、わかりやすい道路標識、表示灯等の安全対策を行い

近隣住民の安全、安心を守っていくことが必要と考えます。

村内各地区においても同様な箇所が数多く有ると思います。当局においては現状の把握と今後どのような対処

をしていくのかをお伺い致します。

答 総務課長

国道をはじめとした道路整備の進展で利便性が向上している一方、村内における交通事故も増加傾向となってきました。平成23年の本村における交通事故



交通安全の街頭指導

件数は物損事故127件、人身事故16件合わせて143件となっております。平成24年は11月までに物損事故126件、人身事故17件合わせて143件となっており、そのうち、死亡者が2名で、いずれも昨年を上回るペースで発生しています。

山梨県において、10月に「交通死亡事故多発警報」を発令し、集中的な取り組みと注意喚起したところであり、本村においても、道路管理者が道路上の安全表示、道路標識の設置、危険個所の道路改良等が順次行われているところですが、また、警察、交通安全協会、村が連携して、交通安全のための街頭指導や障害木の枝払い等に取り組みしております。

「再質問あり」

一般質問
(これが聞きたい)

道志の湯 薪ボイラーは



長田達義 議員

問

- 1 薪ボイラーの煙・臭いは改善されたか
- 2 水稻育苗施設の改善は
- 3 どうし米の生産計画は

問

道志の湯薪ボイラーの煙、臭い対策は

道志の湯は、施設の改修を行い24年4月にリニューアルオープンしました。次の点についてどのように実施または、改善されたのかお尋ねします。煙・臭いの実験として、乾燥率の高い薪を使用して燃やしてみる、とのことでしたが実際に実施したのか。また、実施した場合はその結果は、どうだったのか。薪の保管について、雨対策として倉庫等を設置すると言っていたが、どうなったのか。以上の2点について、お尋ねします。

答 村長

8月下旬から含水率の低い(20%以下)薪を使用したところ、燃し点け時にはどうしても煙が出てしまいますが、オキができ、薪ボイラーの炉の温度が上がることにより、煙・臭いが少なくなることが確認できました。

薪の受け入れ方法、保管場所について改善策を進めています。

次に、薪の保管についてですが、雨対策として薪ボイラー施設の横に倉庫等の設置を検討しています。

答

- 1 良質の薪安定で煙、臭い軽減する
- 2 指定管理者と協議の上改修する
- 3 「どうし米」のブランド化に取り組み



道志の湯 薪ストック場

問 水稻育苗施設の改善計画は

道志村の水稻育苗施設として昭和55年に整備された施設が川原畑地区にあります。この施設が老朽化しており、必要な改善を行う計画があるのかお尋ねします。

答 産業振興課長

道志村水稻育苗センター

答 産業振興課長

村内での生産米について、従来の品種、今回の品種について、米作り農家に手間をかけたない、お金をかけない米作りを普及し生産量を増やすとともに「どうし米」としてのブランド化に取り組んでいきたい。

「再質問あり」

問 「どうし米」の生産計画は

「どうし米」の今後の生産計画はどのような



水稻育苗施設

来年度予算の方針は



山口博康 議員

問

- 1 平成25年度予算は
- 2 村道、農林道の維持管理は
- 3 神地沢の防災対策は
- 4 職員の移動は、どう考える

答

- 1 命を守るための「安心安全」を優先する
- 2 生活を第1に考える対応をする
- 3 砂防指定地に調査中です
- 4 職員研修の充実、事務効率を図る

問 平成25年度予算は

年度明けには25年度予算の編成方針を決定しなければならぬと考えます。長期計画や、日本一の水源の郷を目指して、どのような重点施策を考えているのか、基本方針をお伺いいたします。

する予定となっております。

「中山間地域総合整備事業」において、馬場から椿までの水道施設の建設工事が予定されておりあります。

新規事業の主なものとして、持続可能な村づくりのプロジェクト構想となります。

答 村長

命を守るための「安心安全の村づくり」を優先して進めて行くつもりであります。県営事業になりますが「農村災害対策整備事業」における農業用施設や農村防災施設などの安全対策が計画されていまして来年度から開始

問 村道、農林道の維持管理について

迅速に対応するには、当初予算で、予算計上が必要ではないかと思っております。

答 産業振興課長

迅速な対応を心掛けていまして、当初予算においても必要に応じて

問 神地沢の防災対策について

一定の予算を考えています。災害等の緊急時においても、専決補正等によって迅速な対応もできますので、ご理解をいただきたいと存じます。

この沢については、23・24年の大雨による濁流により、大きな被害を受けましたが、復旧の見込みが立つておりません。行政と議会

で協力して対応することとで前進するならば、働くことは惜しまない

ので報告願いたい。

答 産業振興課長

神地沢につきまして

問 職員の移動について

は、沢沿いの村道の路側につきましては復旧しました。しかし、まだ改修が必要な箇所もありますので、この沢筋について、山梨県に相談し、現地確認の後に、砂防指定地の調査に取り込んでいますので、その調査結果待ちの状態です。

答

一職場での勤務年数が長ければ、専門知識が備わるものと考えます。このため移動間隔については、5年間を目標に考えては如何でしょうか。職員の知識と経験が村の活性化につながるものと思っております。

答 産業振興課長

本村は少ない職員で、広範囲な行政業務を行う事が、求められますので、求められる行政ニーズに対応していきたいと考えています。

「再質問あり」



月夜野地区の国道改良

次期村長選挙は



杉本秀明 議員



① 次期村長選への所信は

② 平成25年度予算編成は

③ ふれあいトークの成果と活用は

① 支援者の声を聞きながら前向に検討

② 本年度と同様の考え方で編成を

③ 今後の行政に反映して行く

問 次期村長選挙への所信は

大田村長が二期目に就任されて三年がたち、残す所半年余りとなり来年は選挙の年となります。

「日本一の水源の郷をめざして」をスローガンに、様々な政策や施策、事業に取り組んでいるところですが、来年7月の村長選挙への所信について、どのように考えているのか。

答 村長

私も就任以来7年余にわたり村政をお預かりいたしました。私に与えられたミッションは単独で生きていく道筋をつけるということであつたと思います。

総合計画「日本一の水源の郷をめざして」を基本に事業も勧めてまいりました。

現状において単独の選択は成功であつたとの声も大きく、厳しい財政に配慮しながらも大きな事業も計画に基づき進めております。環境に配慮しながら安心で安全な美しい村を次の世代に引き渡せるようにしてまいりたいと思います。時期尚早

問 平成25年度予算編成の方針は

とは思いますが一部団体や支援者から三期目を目指せとの声もあり慎重な中にも大胆に前向きにと取り組んでまいりたいと思います。

村の重要施策や主要事業を確実に実施していくため、平成25年度の予算編成をどのような方針で行っていくのかお尋ねします。

答 村長

来年度の当初予算編成は、3月定例議会を日途に2月上旬の予算案の編成を見込んで、一連の作業を行っていきたくと思っています。本村は、財源の大部分

答 総務課長

を引き続き行政改革に努めながら、「最小の予算で最大の効果を上げる」効率的な行政運営に取り組んで行く、予算の編成を行って行きたいと考えています。

問 ふれあいトークの成果と活用は

を依存していただきますので、国、県の動向を常に注視していくことが重要になりまして、来年度予算も本年度と同様の考え方が常識的なところと思っています。

ふれあいトークでは、各地区からいろいろな意見、要望などが出たと思っていますが、住民の参加状況とその成果、



ふれあいトークの様子

答 総務課長

また、今後の村政推進にどのように活用していくのかお尋ねします。

村内7地区での実施で、参加されました住民の総数は71人でありました。貴重なご意見やご要望をいただきましたので、今後の行政へ反映して行きたいと考えています。

「再質問あり」

議会 委員会 活動

議会運営委員長行政視察報告

平成24年8月29～30日

湯沢町議会視察

新潟県湯沢町議会視察に参加しました。湯沢町議会では、「議会の申し合わせ事項」を作成して、それを基に議会運営しています。気付いた事は一般質問の、一問一答方式で1人の質問時間は1時間、質問は3回まで、各常任委員会委員の任期が4年だそうです。これらを参考にして議会改革や議会活性化を進めていきたいと思えます。

議会運営委員長 長田達義



広報常任委員会

平成24年11月7日～8日

町村議会広報研修会

岐阜県幸田町、大口町の議会広報委員会活動状況を町村議会広報編集委員会にて視察研修させていただきました。両町とも人口3万人程度の町で、多年にわたり議会紙の発行をされています。発行にさいし、注意している所や考え方などの意見交換などをしまして道志村の議会だよりに取り入れられる事項などないかお聞きして参りました。

広報常任委員 佐藤定三



国会議事堂視察及び表敬訪問

平成24年10月26日

議会活動報告

10月26日、行政及び議会にて山梨県選出の国会議員、輿石東参議院議員会長と米長晴信参議院議員の事務所を訪問し、国道413号の野原、大渡、月夜野間のトンネル化について謝意と今後の道志村の行政に対しての協力をお願いしました。また、議事堂の中を案内していただき参議院議員会長室、予算委員会室など議会活動の拠点を見て、実際の国会での活動風景が思い浮かびました。

総務文教常任副委員長 佐藤定三



議案の質疑

H24年第8回議会定例会(12月)

事業計画の質疑について一部を紹介します



シリーズ
第1回

高齢者保険福祉計画と介護保険事業計画について

現況と今後の推計

★ 今後の高齢者(65歳以上)人口の推計は？

平成24年は29,9%ですが平成26年は33,6%と推計

★ 要支援、要介護認定者の推計は？

年々重度介護者が増える見込みと考える。

■ 村の総人口・高齢者人口の推移

(単位:人)

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
総人口	2,086	2,052	2,022	1,981	1,959	1,933	1,925
40歳~64歳	706	716	723	719	716	730	717
高齢者人口	563	565	557	542	544	540	575
65~74歳	275	260	246	241	236	218	243
75歳以上	288	305	311	301	308	322	332
高齢化率	27.0%	27.5%	27.5%	27.4%	27.8%	27.9%	29.9%
後期高齢者率	51.2%	54.0%	55.8%	55.5%	56.6%	59.6%	57.7%

※住民基本台帳(各年10月1日現在)(高齢化率:65歳以上 後期高齢者率:75歳以上)

★ 今後の本村の目指す方向性

本村においては、総人口の減少、ひとり暮らしや高齢者世帯、高齢化人口の増加とそれに伴う要介護認定者と保険給付費の増加が見込まれています。

昨年11月に、村内唯一のサービス事業所であった通所介護事業所(福祉センター)が、民間の事業所(道志茶屋)へと引き継がれました。今後は、当該事業所(道志茶屋)を最大限に活用しサービス提供時間の延長、祭日や休日の営業、お泊りデイの試行のほか、通所介護と併設した居宅支援事業所の開設を検討していきます。

★ 今後の課題と議会の思い

介護保険制度の利用者の増加に伴い **保険料も増加(平成12年2,108円→平成24年5,100円)傾向にあります。** この状況を少しでも抑えていくには、住民一人ひとりが、自分にあった健康づくりが進められるよう、健康診断や健康についての相談事業を充実させ、元気な住民づくりを村の目標としていきたい。

議案等の審議結果

H24年第8回道志村議会定例会（12月11日～14日）

議案等番号	件名	審議結果
承認第4号	専決処分の承認について（平成24年度道志村一般会計補正予算第4回）	承認
議案第53号	道志村条例の左横書き等の整備に伴う特別措置に関する条例	原案可決
議案第54号	道志村国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第55号	平成24年度道志村一般会計補正予算（第5回）	原案可決
議案第56号	平成24年度道志村国民健康保険特別会計補正予算（第3回）	原案可決
議案第57号	平成24年度道志村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2回）	原案可決
議案第58号	平成24年度道志村簡易水道事業特別会計補正予算（第3回）	原案可決
議案第59号	平成24年度道志村介護保険特別会計補正予算（第2回）	原案可決
議案第60号	平成24年度道志村介護保険サービス事業特別会計補正予算（第2回）	原案可決
議案第61号	平成24年度道志村浄化槽事業特別会計補正予算（第2回）	原案可決
議案第62号	平成24年度道志村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	原案可決
議案第63号	村道路線の認定について	原案可決
	閉会中の継続調査について	原案可決

議会活動

建設厚生常任 委員会活動報告

村内では、23・24年の台風による水害のため、数多くの護岸堤防が決壊しており、県の建設事務所により、復旧工事が盛んにおこなわれています。この復旧工事並びにその他の公共工事の状況を11月30日に調査しました。その結果、県による工事は、今年約12億円が発注されています。このうち、月夜野の国道工事は、約1億3千万円にもなっております。この公共工事は、村の活性化の一翼を担っていると
 思います。
 今後も災害復旧や建設工事を進めて、暮しやすい村作りのため頑張ります。



村内の災害現場

議会の思い

明けましておめでとうございませう。昨年末は総選挙があり、自民党が過半数の議席を獲得し、自公の政権奪還となりました。

私も議員になり、8か月が経過しました。建設厚生常任委員として、「富士東部広域林道」「椿く大室指線林道」及び一昨年の台風で被害を受け、復旧されていないところを視察しました。

まだまだ修復されていない場所がたくさんあります。厳しい予算の中、皆で知恵を出し合い災害復旧を進めていきたいと思っております。今後も議会としての役割を果たすとともに、地域の橋渡し役として皆様のご意見をお聞かせ下さい。

山口勝也





あの一般質問は今・・・

平成24年6月定例会

★**質問**

道志村の美しい景観づくりとその継続は

答弁

村に住むことが自慢できる、ふるさとづくりを目指す

平成24年9月定例会

●**質問**

福祉センターの特殊浴槽の改修は

答弁

来年度予算で設置を予定

その結果**今は**



利用者の利便性確保の為に12月補正予算で対応した。



モデル地区を選定し、12月補正予算で国道、県道脇の枝打ち、間伐の事業を実施する。

議会の考え

- ★ ■ 美しい村づくりを念頭に、安全面からも良い事業と考えます。
- ■ 利用者の利便性と福祉の観点から見て、早い導入を望むところです。

「神楽・おきゅうだい」を次代へ継承

神地伝統芸能保存会 会長 山口 和男さん



神地おきゅうだい

神地地区に伝わる神楽・おきゅうだいは、江戸時代から始まったと言われていています。地元の長老の皆さんがその昔から保存伝承してきた、この伝統芸能を今引き継ぎ、次世代にも継承していくため、神地伝統芸能保存会を平成19年2月に設立しました。戦後途絶えていたお神楽は、地元若連の熱意により昭和45年頃に復活、また、おきゅうだいは、地元有志の熱意と村教育委員会の全面的な支援により、昭和61年に村の文化祭を契機に復活することができました。保存会では、この神楽及び

おきゅうだいに併せて、子供神輿も保存伝承していくために保存会へ加え、現在、神楽・おきゅうだい・子供神輿の3部門を保存会として活動しています。

神楽の歴史を調べて

神地の神楽はどこから伝わってきたものだろうか。保存会を設立してからこのことをメンバーと一緒に考えて始めた。地域の長老の話や、関係する機関に問い合わせしてみた。平成20年には、神楽の歌詞に出てくる「三島大社」を訪ね、神楽に纏わる話を聞いた。また、伊豆地域に伝わる神楽が神地神楽に非常に似ていることが分かり、秋祭りに3箇所の神社で奉納される際に訪問して実際に見せていただき、保存会の方々から話を聞くことができた。熱海市の今宮神社、和田木神社そして西伊豆の天神社の獅子舞（神楽）の歌詞とメロディーが非常に似ていた。この神楽の歴史については、今後村及び教育委員会の協力も頂きながら調査を続け、郷土芸能の歴史を記録に残して行きたいと思っています。



熱海市和田木神社の獅子舞



横浜市立中学生に指導

「おきゅうだい」韓国で公演

保存会は、平成22年10月に韓国の忠清北道忠州市で開催された「日韓芸術文化交流の夕べ」に出演し、日本の代表として伝統芸能おきゅうだいを披露してきました。この公演は富士北麓文化交流実行委員会主催によるもので、保存会が出演するにあたっては村当局の最大のご協力とご支援をいただき、初めての海外公演を経験させていただきました。

私たちは、この海外公演が大きな自信と誇りになり、今後の活動の励みとなりました。また、後継者の育成についても、神地地区の子供たちはもちろんのこと、やってみたい村内の子供たちにも神楽やおきゅうだいの伝統芸能を教えていきたいと考えています。



神地夏祭り地域コミュニティーを！

神地地域では、毎年8月15日に神地夏祭りを実施しています。この祭りは子壱神社の祭礼で自治会が中心となり地域のみinnで盛り上げているお祭りです。育成会は、子供たちの神輿を練り歩き、保存会は神楽とおきゅうだいを舞い、自治会は祭りの総合的な運営をしています。祭りを通して子供からお年寄りまで楽しく交流ができて、疎遠になりがちな地域コミュニティーができればいいと思っています。

紹介

しょうかい

神地伝統芸能保存会

スポーツを通して 思いやりのある子供たちに！

道志村で現在活動しているスポーツ少年団は、剣道・バレーボール・野球・サッカーの4団体があり、各団で子供たちは頑張っています。少子化の影響で10年前は113名の登録がありましたが、現在では約半数の54名の登録です。団員数が減少するなか、団体で行う競技は同学年で1つのカテゴリーに出場する事が出来ないと言う指導者の声も聞きます。それぞれの団体のつながりを図っていくことを目的に、指導者連絡協議会を発足しました。本連絡協議会では活動事業の一環として、昨年8月5日に教育委員会の協力をいただき、自分たちの住む道志村を愛する心と、日本一の水源の郷をめざそうという思いで、やまゆりセンターから道の駅どうしままでの間を各団の団員と保護者・指導者の60数名で清掃活動を行いました。今後はこのようなボランティア活動だけではなく、みんながひと



道志村スポーツ少年団
本部長 佐藤健蔵さん



つになって行うイベントも考えていきたいと思えます。これから未来を背負って立つ子供達に試合の勝ち負けだけではなく、スポーツを通して「感謝の気持ち・いたわる気持ち・思いやりの気持ち」人として人間としての基礎・基本となることを、私たち指導者も勉強しながら活動していきたいと思えます。

写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

広報常任委員会
委員長 杉本 秀明
副委員長 山口 力
委員 出羽 和平
委員 佐藤 定三

12月定例会が、14日に閉会し1月1日発行の17号の編集に、あわただしく全員で取り組みました。

どうすれば読みやすくなるか、また、見ていただけのかなどを話し合いましたが、今回は日程上、間に合いませんでした。次回はレイアウトや、写真、空白を入れるなど工夫して、見やすい、読みやすい紙面づくりをしていきたいと思えます。

なお、12月定例会では、6名の方が議会を傍聴されました。これからも積極的に議論を展開し、議会の活性化に努めますので傍聴して下さい。

(出羽和平)

編集後記